



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 積水樹脂株式会社  
 コード番号 4212 URL <http://www.sekisuijushi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 福井 彌一郎  
 (氏名) 菊池 友幸  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6365-3204  
 平成25年12月5日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,188	8.3	3,757	18.2	3,768	11.8	2,206	15.5
25年3月期第2四半期	27,880	3.4	3,180	2.1	3,370	9.3	1,910	10.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,160百万円 (86.8%) 25年3月期第2四半期 1,692百万円 (△3.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	49.66	—
25年3月期第2四半期	42.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	91,890	68,324	73.4
25年3月期	95,778	65,847	67.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 67,481百万円 25年3月期 65,062百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	15.00	26.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円 特別配当4円  
 26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当13円 創立60周年記念配当2円  
 26年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当13円 創立60周年記念配当2円

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	9.1	9,650	10.6	9,750	6.7	5,900	9.1	132.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	47,313,598 株	25年3月期	47,313,598 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	2,882,169 株	25年3月期	2,876,053 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	44,433,629 株	25年3月期2Q	44,439,493 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策により、公共投資の増加や消費税増税を見越した駆け込み需要等を背景に、企業業績や個人消費に改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境下において、当社グループは、国内におきましては、政府の緊急経済対策における「復興・防災対策」や「暮らしの安心の確保」などの取り組みに貢献する新製品の開発に注力し、売上拡大に向けた諸施策を実施してまいりました。一方、海外におきましては、経済成長著しい東南アジア市場においてアルミ樹脂積層複合板事業の展開をはかるべく、本年9月にタイ王国においてセキスイジュシプラメタル(タイランド) Co., Ltd. を設立し、連結子会社として初めて海外進出の礎を確立いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は301億8千8百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は37億5千7百万円(前年同期比18.2%増)、経常利益は37億6千8百万円(前年同期比11.8%増)、四半期純利益は22億6百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

#### ①都市環境関連事業分野

防音壁は、アルミ枠透明板の高い遮音性能と耐振動性能が評価され、北陸新幹線の金沢・長野間に採用されましたが、高規格道路開通路線減少の影響等により売上減を余儀なくされました。交通安全製品は、車線分離標「ポールコーン」が生活道路の交通安全対策として採用されるなど売上を伸ばしましたものの、太陽電池式LED表示板の受注減少の影響等により低調に推移いたしました。路面標示材は、通学路の安全対策や大規模自転車道などにカラーラインが採用され大幅な売上伸長を示しました。また、ドライバーの視覚効果により車を減速させる目的の貼付式路面標示材「ソリッドシート」が好評を博し各地で採用されました。人工芝は、安全性に配慮し緩衝マットを備えた「ドリームターフ」が学校グラウンドやサッカー場、ラグビー場などに幅広く採用され顕著に売上を伸ばしました。人工木材は、耐候性・耐久性に優れた「スーパーオレンジウッド」が、住宅着工数の増加や住宅リフォーム市場の拡大を背景に順調な伸びを示しましたほか、「角型テnderウッド」がビルの外装材として採用されるなど好調な成績を収めました。

この結果、都市環境関連事業の売上高は83億1千6百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は11億1千4百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

#### ②街路・住建関連事業分野

歩行者用防護柵は、公共工事の発注増加を背景に「フレックスロープ」が、歩行者の転落防止などの安全対策に採用され大きく売上伸長しましたほか、天然木に近い風合いを持つ擬木柵「テnderウッド」が周囲の景観にマッチする製品として河川整備などに採用され売上を伸ばしました。また、高欄は、橋梁の長寿命化のための補修工事が増加する中、「ビューレイル」の施工性が評価され好調な成績を収めました。メッシュフェンスとめかくし塀は、マンションや商業施設などの着工数増加を背景に、デザイン性や施工性に優れた製品の品揃え強化が市場に認知され大幅な売上増となりました。また、自転車置場製品が、民間集合住宅向けに好評を博しました。メタカラー建材は、大型商業施設や外食チェーン店等への販路拡大を積極的に推進しました結果、順調な成績を収めました。アルミ樹脂積層複合板は、ビルの建替需要の増加に伴い、防音パネル「ビルガード」が優れた軽量性・耐久性が評価され好調な伸びを示しました。

この結果、街路・住建関連事業の売上高は119億3千7百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は20億4百万円(前年同期比43.6%増)となりました。

#### ③産業・生活関連事業分野

包材関連製品は、柔らかく使用後に廃棄しやすい「ゆうバンド」が環境に配慮した製品として評価され売上を伸ばしました。デジタルピッキングシステム製品は、顧客ニーズにマッチした製品開発にあわせ、積極的な提案営業が功を奏し、国内はもとより米国等への輸出が好調な伸びを示しました。一方、組立システムパイプ製品は、電気・精密機器関連メーカーの設備投資抑制の影響により前年同期並みの成績に終わりました。タイ王国における自動車部品関連製品は、生産台数増加を背景に順調に推移いたしました。生活関連製品は、インターネット通販などの成長市場への販路拡大を推進しましたものの、ホームセンター等の既存ルートにおける厳しい価格競争の影響により大幅な売上減となりました。緑関連製品は、農家を取り巻く厳しい環境の影響により需要が低迷し前年同期を下回る成績に終わりました。

この結果、産業・生活関連事業の売上高は99億2千1百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は9億8千1百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

#### ④その他事業

保険手数料収入は前年同期並みに推移し、売上高は1千2百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は6百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ38億8千7百万円減少し918億9千万円となりました。主に、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ63億6千4百万円減少し235億6千5百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ24億7千6百万円増加し683億2千4百万円となりました。主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。純資産から少数株主持分を控除した自己資本は674億8千1百万円となり、自己資本比率は73.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ16億2千万円増加(8.1%増)し、216億6千4百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益37億4千8百万円に加え、売上債権の減少等による資金増加の一方、仕入債務の減少及び法人税等の支払を行った結果、44億7千9百万円の収入となりました(前年同期は56億2千4百万円の収入)。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得等により23億2千6百万円の支出となりました(前年同期は37億6千9百万円の支出)。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により6億8千3百万円の支出となりました(前年同期は6億8千7百万円の支出)。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、平成25年7月26日に公表しました予想に対し、次表の通り修正いたします。

	今回予想	平成25年7月26日に公表した 従来予想
売上高 (百万円)	70,000	70,000
営業利益 (百万円)	9,650	9,200
経常利益 (百万円)	9,750	9,400
当期純利益 (百万円)	5,900	5,700
一株当たり純利益 (百万円)	132.79	128.28

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,043	23,664
受取手形及び売掛金	28,256	20,603
商品及び製品	3,170	3,174
仕掛品	980	1,042
原材料及び貯蔵品	2,840	2,694
その他	3,174	2,903
貸倒引当金	△37	△22
流動資産合計	59,427	54,059
固定資産		
有形固定資産	15,561	15,455
無形固定資産	510	503
投資その他の資産		
投資有価証券	9,033	9,914
その他	11,431	12,128
貸倒引当金	△186	△171
投資その他の資産合計	20,278	21,871
固定資産合計	36,350	37,830
資産合計	95,778	91,890
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,726	11,965
短期借入金	2,150	2,150
未払法人税等	2,286	1,439
引当金	740	664
その他	4,507	3,906
流動負債合計	26,411	20,125
固定負債		
退職給付引当金	3,275	3,182
役員退職慰労引当金	30	32
その他	214	225
固定負債合計	3,519	3,440
負債合計	29,930	23,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,334	12,334
資本剰余金	13,189	13,189
利益剰余金	41,368	42,907
自己株式	△1,943	△1,951
株主資本合計	64,948	66,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	598	1,132
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△484	△130
その他の包括利益累計額合計	114	1,001
少数株主持分	784	843
純資産合計	65,847	68,324
負債純資産合計	95,778	91,890



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	27,880	30,188
売上原価	19,638	21,270
売上総利益	8,241	8,917
販売費及び一般管理費	5,061	5,159
営業利益	3,180	3,757
営業外収益		
受取利息	37	42
受取配当金	60	70
その他	251	70
営業外収益合計	348	183
営業外費用		
支払利息	82	84
為替差損	54	46
その他	21	42
営業外費用合計	158	172
経常利益	3,370	3,768
特別損失		
固定資産除売却損	14	13
減損損失	91	6
投資有価証券評価損	69	—
特別損失合計	175	19
税金等調整前四半期純利益	3,195	3,748
法人税等	1,230	1,485
少数株主損益調整前四半期純利益	1,964	2,263
少数株主利益	53	56
四半期純利益	1,910	2,206

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,964	2,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△258	530
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△11	363
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	3
その他の包括利益合計	△271	897
四半期包括利益	1,692	3,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,638	3,094
少数株主に係る四半期包括利益	54	66

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,195	3,748
減価償却費	596	570
減損損失	91	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△112	△28
売上債権の増減額 (△は増加)	8,641	7,756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△304	148
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,535	△4,746
その他	△707	△788
小計	7,864	6,665
利息及び配当金の受取額	97	113
利息の支払額	△78	△79
法人税等の支払額	△2,258	△2,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,624	4,479
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△488	△454
投資有価証券の取得による支出	△25	△1
短期貸付金の増減額 (△は増加)	300	200
長期性預金の預入による支出	△3,000	△3,000
長期性預金の払戻による収入	—	1,000
その他	△555	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,769	△2,326
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100	—
配当金の支払額	△576	△665
その他	△10	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△683
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	150
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,174	1,620
現金及び現金同等物の期首残高	21,583	20,043
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,850	21,664

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,858	10,440	9,569	27,867	13	27,880
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	4	87	92	4	96
計	7,858	10,444	9,656	27,959	17	27,977
セグメント利益	976	1,395	1,165	3,538	6	3,544

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,538
「その他」の区分の利益	6
全社費用(注)	△364
四半期連結損益計算書の営業利益	3,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	都市環境 関連事業	街路・住建 関連事業	産業・生活 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,316	11,937	9,921	30,175	12	30,188
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	5	78	84	3	87
計	8,316	11,942	10,000	30,259	16	30,275
セグメント利益	1,114	2,004	981	4,099	6	4,105

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,099
「その他」の区分の利益	6
全社費用(注)	△348
四半期連結損益計算書の営業利益	3,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに開発試験研究費の一部であります。